

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		小学生の活動空間としては手狭に感じるが近くの公園等々を利用して活動している。個別療育は時間調整や部屋を分けるなどしてスペースを産み出す工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	2		小学生の下校時間が重なることにより個別指導と集団活動に人手が足りない時間がある
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	1	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			日々の送迎時をはじめ個別面談時などで保護者の声を拾って早期の改善・対応に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページの公開を行なっている。保護者の評価に対し、職員会議において周知するとともに改善内容等を話し合う。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		職員の経験年数や役割の段階に応じた研修が課題である。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別の状態像を職員間で把握共有して家族ニーズを取り入れて、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		1	今後標準化されたアセスメントツールでの客観的分析も検討していく予定である。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			どうしたら児童が楽しめるかなどスタッフで話し合いながら立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		毎月スタッフで話し合い製作や課外活動等児童らが色々な経験体験ができるようにしている。季節に応じた遊びの設定案を作成している。同じ活動でも回数や経験に応じて素材や遊び方を変えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		休日や長期休暇に応じて設定案を作成している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			日々の療育の中で適宜個別活動と集団活動を組み合わせている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			時差出勤の職員にも情報共有できる工夫をし、その日の活動内容や役割分担の確認を周知している
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			児童について気づいた点や支援をどうしていくかスタッフ同士やり取りしている。振り返りに参加できない職員とは翌日に情報共有している。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			限られた時間内であっても丁寧な記録に努めている。今後も記録内容をもとに支援方法の振り返り改善を行うようにしたい。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			会議を通して療育内容の検証や改善を実施している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		1		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1		1	対象児童は在籍していないが、情報をまとめており、提供する準備はしている。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		2	札幌市地域支援マネージャーの巡回訪問を受けて支援の方向性などの助言を受けている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		1		
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			1	1	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				日ごろから子どもの成長を伝えながらの療育や保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2		2		
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				見学契約時に丁寧に説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				丁寧な個別面談を通して子育ての悩みを共有し保護者が「子育ての工夫」に気づける場を設定している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			1	4	コロナ感染を思うと開催は難しいと思う

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情等の申し入れは窓口を明示し迅速に対応している。子供からの相談等は対応が必要と感じた支援者による聞き取りや寄り添い、職員間の共有を行なっている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			家族に対しては契約時に個人情報保護の説明を行い個人情報使用の限定に関する承認を得ている。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			子どもの意思疎通は個々の特性に応じたコミュニケーションツールを工夫している。保護者においては口頭の説明に加えて文書メモ等を使って子育てで忙しい中でも確実に伝える工夫をしている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	2	感染予防の観点から開催を見合わせている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			連絡帳で情報交換している。マニュアルをより実情に即したように見直し早期に周知をする。保護者への周知を強化する必要がある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			必ず月2回児童とともに訓練している。火災・地震・不審者等を設定した訓練を行なっている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3		該当している児童がいない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			

○この放課後等デイサービス自己評価表は、放課後等デイサービスの事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。